

ニューロナーズの疑問に答える！

脳神経疾患画像診断レクチャー

疾患の基礎知識、画像を見るときのポイントなど
脳神経疾患画像にまつわるナーズの素朴な疑問に
1問1答形式でズバットお答えします！



企画

土屋一洋 (杏林大学医学部 放射線医学教室 准教授)

つちや・かずひろ：1980年 北海道大学医学部卒業、
同年 東大附属病院 放射線科 研修医、1981年 同 助
手、1984年 公立昭和病院 放射線科 科長、1985年
防衛医科大学校 放射線医学教室 助手、1993年 杏林
大学医学部 放射線医学教室 講師を経て、2000年よ
り同 助教授 (2007年より准教授)。

執筆

前田正幸 (三重大学附属病院 放射線診断科 講師)

第9回

胚腫/髄芽腫

① 胚腫 (ジャーミノーマ)

症例 12歳の男児

2か月前から頭痛、嘔吐あり。またその後、
ふらつき、眩暈も出てきた。

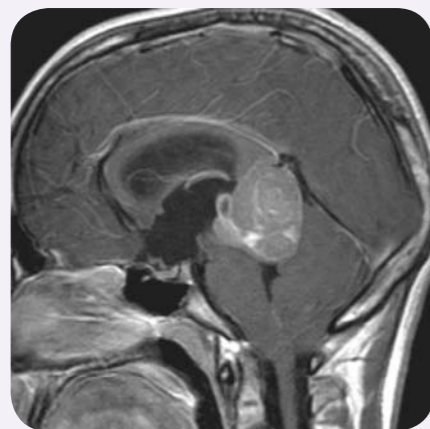
単純CT



冠状断造影 T1 強調像



矢状断造影 T1 強調像



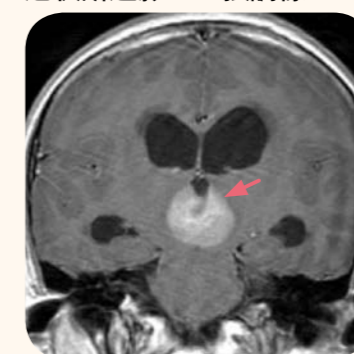
画像所見

単純CT



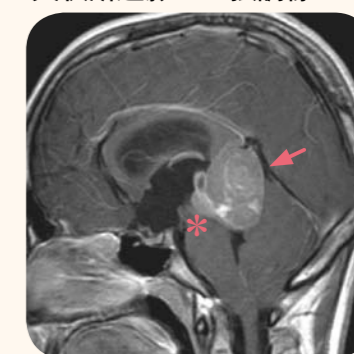
松果体には高吸収の腫瘍を
認める(→)。脳室は大きく、
水頭症がある (*)

冠状断造影 T1 強調像



腫瘍は強く増強されている
(→)。

矢状断造影 T1 強調像



矢状断撮影では腫瘍が松果体の腫瘍
であるとわかる(→)。中脳は
腫瘍により圧排され (*), 中脳
水道は閉塞している。

Q1



胚腫とはどういう腫瘍ですか？

胚腫は胚細胞由来の腫瘍の中で最も多く、好発年齢は10～20歳代と若年者に多いことが特徴です。また、この腫瘍は白人や黒人に比べて、東アジアの民族(日本や韓国など)に多いことも特徴です。

- 好発年齢：10～20歳代
- 東アジアの民族に多い

Q2

胚腫の臨床症状にはどのようなものがありますか？



胚腫の発生部位は松果体が60%、トルコ鞍の上部が30%です。松果体にできた場合、中脳水道が圧排され、脳脊髄液の流れが障害されるために水頭症をきたします。したがって、頭痛、嘔吐は現れやすい症状です。また、トルコ鞍に発生した場合、尿崩症をきたすことが特徴です。

水頭症



頭痛・嘔吐



尿崩症

